

地域コンソーシアムを構築し、高校生のための国際会議を開催

SDGs高校生未来会議

～私たちの未来は始まっている～

2019年度開催報告



SDGsの達成に向けた取り組みや提案を行う自治体として「SDGs未来都市」に選定されたニセコ町。2019年夏、この町を舞台に地域の高校生と世界中から集まる海外の高校生が、SDGsのテーマに沿って地域が抱える課題の解決に取り組む国際会議が開催されました。スーパーグローバルハイスクール（SGH）事業の指定を受けていた札幌日本大学高等学校が中心となって大学や行政組織、民間企業とコンソーシアムを構築して運営にあたりました。文部科学省の推進するワールド・ワイド・ラーニング（WWL）の先駆けとも言えるこのイベントを、事務局としてサポートしたJTBより報告します。

注）2020年8月に予定していた第2回SDGs高校生未来会議北海道ニセコ大会は、新型コロナウイルス感染拡大による状況を踏まえ、開催を延期致しました。

開催報告



SDGs高校生未来会議

～私たちの未来は始まっている～

○会期：2019年8月6日（火）～8月8日（木）

○会場：北海道ニセコ町町民センター
ホテルヒルトンビレッジ



- 主催：SDGs高校生未来会議実行委員会
- 企画運営：SDGs高校生未来会議実行委員会・札幌日本大学高等学校・北海道ニセコ高等学校・(株)JTB
- 後援：北海道・北海道教育委員会・北広島市教育委員会・北海道新聞社・独立行政法人国際協力機構・HBC北海道放送・在札幌米国総領事館
- 協力：北海道ニセコ町、市立札幌開成中等教育学校、札幌聖心女子学院中学校・高等学校
- 協賛：学校法人河合塾、中西印刷(株)、(株)プレシャスランド、ユニフォーム北海道、フェリック(株)、(株)共立自動車、(株)須田製販、(株)第一学習社、大洋事務機(株)、北海道トンボ(株)、豊島(株)、(株)ニセコリアルエステート、北校商会、ニセコ環境(株)、(株)SUPER OKUSAN、農業生産法人、金丸農園(株)、キャリア甲子園、(株)機電エンジニアリング、(株)WIND'L、TOYOSHIMA(株)
- 参加者：高校生46名（日本31名・海外15名）、教員17名、関係者45名（大学教授、大学生、ほかスタッフ）
- 参加校：玉川学園高等学校、近畿大学附属広島高等学校東広島校、三浦学苑高等学校、名古屋国際中学校・高等学校、札幌聖心女子学院、北海道浦河高等学校、北海道室蘭米高等学校、北海道札幌国際情報高等学校、札幌市立札幌開成中等教育学校、北海道ニセコ高等学校、札幌日本大学高等学校、AFS留学生（アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、チェコ、フィンランド、フランス、ハンガリー、タイ、アメリカ、韓国、台湾）
- 開催地：北海道ニセコ町

次代を担う高校生たちの国際交流の場

世界はいま先行きが不透明で複雑な社会課題を抱えた激動の時代を迎えています。次代を担う高校生たちがこの時代を生き抜いていくには、世界にアンテナを張り、同世代間のネットワークを築くことによりお互いの知性・感性を磨き、文化や価値観の壁をともに乗り越えていく体験が必要です。情熱や好奇心、独自性、リーダーシップを持った高校生同士の国際交流の場を提供し、将来に向けて多様な分野の専門家やリーダーとなり得る集団を育成していくことが不可欠と考え、会議の開催を決定いたしました。



会議の様子

日本各地と世界11の国・地域から集まった合計46人の高校生が、SDGsの17のゴールのうち「04.質の高い教育をみんなに」など5つのテーマに沿って英語でディスカッションを実施。参加者たちは、大学生ファシリテーターによるサポートや、有識者による専門的見地からのアドバイスを受けながら、どうしたらゴールを実現できるか白熱した議論を繰り広げました。最後にはテーマごとに課題解決策を英語でプレゼンテーションし、優秀チームを決定。コンテストに加え、ニセコ高校生による地域紹介や交流イベントも開催され、会場は国際色に包まれました。



タイムテーブル

8月6日（火）

オープニングセレモニー

16:00~16:20	歓迎演奏
16:20~16:30	北海道伝統行事紹介

開会式

16:30~16:50	開会式
17:00~18:00	基調講演（SDGsについて）
18:00~18:15	会議開催説明

レセプション

18:30~21:00	開設記念パーティ & セッション
-------------	------------------

8月7日（水）

テーマ別会議

09:00~09:50	基調講演（テーマ別）
10:00~12:00	ディスカッション（グループ討議）
13:00~17:30	ディスカッション（グループ討議）

レセプション

18:00~20:30	フェアウェルパーティー
-------------	-------------

8月8日（木）

テーマ別会議

09:00~10:00	ディスカッション（グループ討議）
10:00~12:00	プレゼンテーション準備
10:00~12:00	プレゼンテーション

閉会式

13:30~13:50	テーマ別優秀チーム表彰
13:50~14:50	テーマ別優秀チームプレゼンテーション
15:00~15:30	閉会式



運営組織



札幌日本大学高校を中心として
会議趣旨に賛同した近隣の高校や
ニセコ町、地元企業、大学、JTB
などが協力して実行委員会を設立。

参加高校
申し込み関係
事務処理
(委託 JTB)

役職

委員長
副委員長

委員

所属

札幌日本大学中学校・高等学校理事長・校長

市立札幌開成中等教育学校校長

北海道ニセコ高等学校校長

ニセコ町役場企画環境課自治創生係

(株)JTB北海道事業本部営業統括部長

(株)JTB教育事業ソリューションセンターキャリア教育事業室

WIN D'OL (株)取締役社長

「2030 SDGs」「SDGs de地方創生」公認ファシリテーター

独立行政法人国際協力機構東南アジア・大洋州部東南アジア第二課副調査役

市立札幌開成中等教育学校

札幌聖心女子学院中学校・高等学校

札幌日本大学中学校・高等学校

札幌日本大学高等学校副校長

国立大学法人東京海洋大学グローバル教育研究推進機構教授

国立大学法人小樽商科大学商学部経済学科教授

橋渡事務所代表取締役

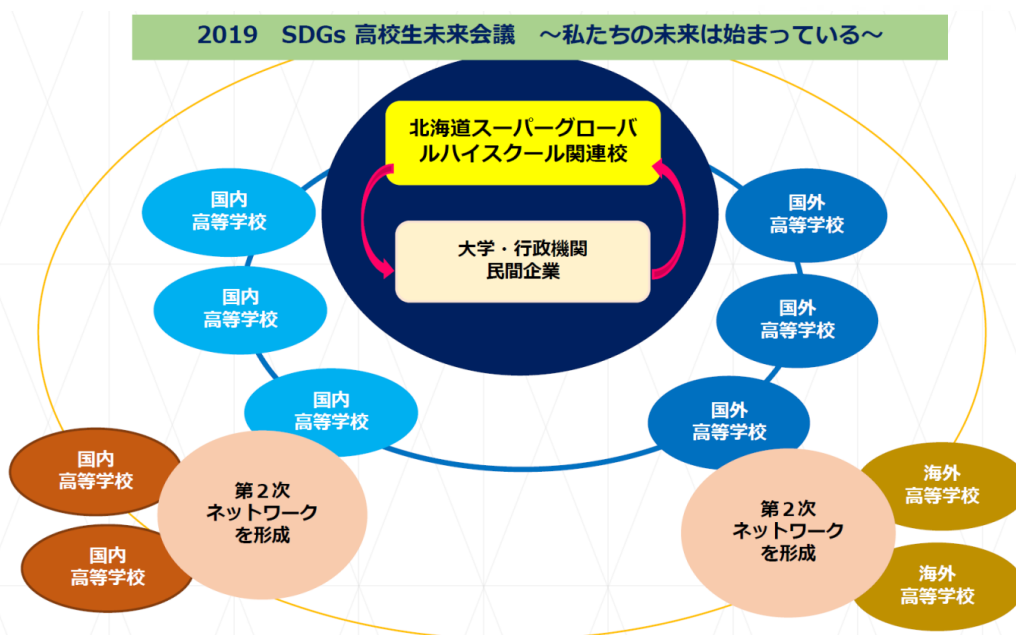
事務局長

アドバイザー

幹事



SGHを軸に大学・行政機関・民間企業と地域コンソーシアムを構築



今回のコンソーシアム
を起点として、今後は
国内・海外の高校へと
ネットワークの輪を
拡大してまいります。

札幌日本大学中学校・高等学校とは

札幌日本大学中学・高等学校は、北広島市にある私立の中学・高等学校です。
「北海道の産業課題を世界視点で捉え、解決に導くグローバル人材育成」をテーマに2015年度より2019年度までの5年間、にスーパーグローバルハイスクール事業の指定を受けました。



JTBと包括連携協定を締結

2018年7月、札幌日本大学中学・高等学校は、学校オリジナルのキャリア教育カリキュラムの策定、課題解決型授業（PBL）の実施、SDGsに関連した国際バカロレア課外活動の支援等を目的として、JTBと包括連携協定を締結しました。

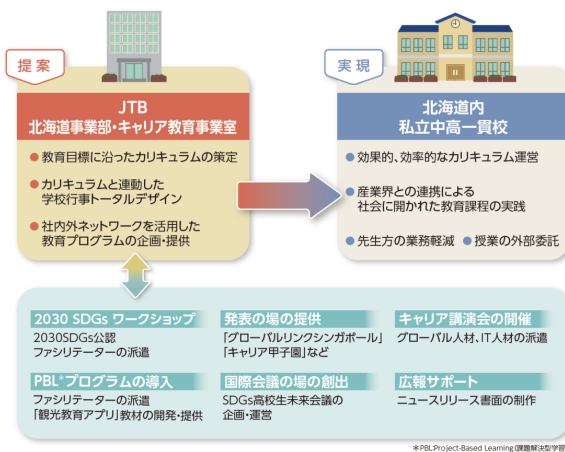
【JTBのサポート内容】

- 中学校・高等学校の6ヶ年でのキャリア教育カリキュラム策定支援
- オリジナルキャリア教育プログラムの開発提供と運営支援
- SDGsに関連したCAS教育（国際バカロレア課外活動）の活動支援
- ニセコをフィールドにした課題解決型授業（PBL）の開発と提供
- 「グローバル・リンク・シンガポール」（グローバルな課題研究の発表の場）への参加

提案事例

キャリア教育を通じた学校運営サポート

学校との間で、オリジナルのキャリア教育のカリキュラム策定や、効果的なプログラムの提供、運営を目的とした包括連携協定を締結。「教育活動を通してグローバル社会で活躍できる人材の育成」という学校課題をオリジナル教育プログラムの開発、運営によりサポート。



学校のネットワークとJTBのコーディネート力でコンソーシアムを構築

札幌日本大学中学・高等学校は2019年、SDGsをテーマにした高校生のための国際会議をニセコ町で開催することを決意。学校のネットワークと、JTBのコーディネート力をミックスすることにより、地域の高校や大学、行政機関、地元企業とコンソーシアムを構築、海外からの参加者を集めて大会の開催が実現しました。

1年前にPBL授業の中でニセコを訪問し、「ここに学校を作りたいね！」そこから妄想が始まり。まずは「SDGs×高校生×会議をやろう！」と一歩を踏み出しました。



会議の舞台は「SDGs未来都市」ニセコ町

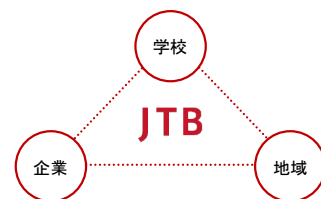
会議開催地となったニセコ町はスキーを中心とするリゾートエリアを有し、コロナ禍の前は年間160万人を超える観光客が訪れていました。外国人観光客が急増し世界ブランドのホテルやコンドミニアムの建設が進み、日本屈指の国際リゾート地となりました。町は2018年に「SDGs未来都市」に選定され、資源、経済が循環する自治のまち「サステナブルタウンニセコ」の構築を推進。日本を代表するグローバル都市を舞台にした国際会議であるからこそ高い発信力が発揮できたと言えます。



企業、地域、学校との接点をもつJTBが「社会に開かれた学び」の橋渡し役に

産官学
ネットワークを
活用した
コンソーシアム
構築サポート

急激な社会変化に伴い、その価値が大きく変わりつつある学校旅行行事。JTBは産官学ネットワークを活用し、社会に開かれた学びを実現することで行事の価値を変革し、これからの社会が求める子どもたちの資質・能力を育む機会を提供いたします。



事例

課題研究と発表を通じた21世紀型スキルの養成



Global Link Singapore (GLS)

JTBが2014年に創設した、アジア太平洋地域における中高生アイデアコンテストです。各国の中高生が、自然科学と社会課題をテーマにプレゼンテーションやポスターセッションを通じて、自分たちの研究成果を英語で発表します。また、アジアの中高生、研究者、専門家が、「世界の未来」のために研究成果や意見など「知の交流」を行なう場でもあります。



Global Link
Singapore

事例

地球環境を考える中高生国際ユースサミット



Global Link Queensland (GLQ)

環境問題を中心にSDGsについて考え、発信するグローバルイベントです。オーストラリア・クイーンズランド州ブリスベン沖のモートン島タンガルーマにて開催され、環境問題についてのプレゼンテーション、交流会、環境問題レクチャーを通じ、国を超えたパートナーシップで環境問題を解決する糸口を探ります。SDGsの中でも地球環境「海の豊かさを守ろう」「陸の豊かさを守ろう」にフォーカスします。



JTBは、「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」に加盟し、SDGsを支援しています。

JTBグループにおけるSDGsの取り組み例



「JTB地球いきいきプロジェクト」は、お客様や地域の皆様とJTBグループの社員が一緒になり、元気な未来を創造していく活動です。

観光地をめぐりながらお掃除をしたり、地域の文化を学びながら植樹をしたり。環境美化や、人と人との交流を通じて、そこに関わる全ての方々とともに「地域を元気に、人を笑顔に。」していきたいと考えています。



本資料に関するお問い合わせ先

株式会社JT B

法人事業本部

東京都品川区東品川2-3-11 JT Bビル13階

E-mail

isr_mktg@jtb.com

当メールの送信アドレスは送信専用です。

営業時間：10:00-17:00 定休日：土日祝及び年末年始

お問合せ

<https://www.jtbbwt.com/education/contact/>

ホームページ

<https://www.jtbbwt.com/>